



青少年交流事業報告書



ヴァヴェル城からヴィスワ川、マンガ館を背景に撮影

伊藤 陽向・丸山 琴音



今回の渡航内容

1. 交流事業参加者

恵那西中学校3年生（当時）伊藤 陽向

恵那西中学校3年生（当時）丸山 琴音

随行者

中山道広重美術館学芸員 中垣 絵理

恵那市教育委員会 水野 雄午

恵那市交流連携課長 田村 猛

2. 主催者 岐阜県ポーランド交流協会・恵那市

3. 日程 令和8年3月26日から3月30日
（飛行機内2泊・クラクフ2泊）

4. 訪問先 ポーランド共和国・クラクフ市
日本美術技術博物館マンガ 他





詳細日程

26日(木)	15:30 恵那駅出発 → 23:25関西国際空港出発
27日(金)	05:30 ヘルシンキ空港到着 → 07:05フィンエアー一搭乗 08:10 クラクフ空港到着 11:00 電車でクラクフ市街地へ移動 12:00 チャルトリスキ美術館見学 16:00 日本美術技術博物館マンガ（マンガ館）訪問視察 18:00 マンガ館併設日本語学校生徒と交流 ～20:00
28日(土)	09:00 午前 旧市街地・ヴァヴェル城視察 12:00～14:00 マンガ館昼食交流 マテウシュ・コウエク氏展示品寄贈署名等 15:00～ 旧市街地視察（織物会館等）
29日(日)	09:00～14:00 旧市街地視察（聖マリア大聖堂） カジミエシュ地区視察（ガリシア・ユダヤ人博物館等） 18:55 クラクフ空港出発 → 21:50ヘルシンキ空港到着
30日(月)	00:45 ヘルシンキ空港出発 → 20:00セントレア中部国際空港到着 → 23:00 恵那駅到着・解散





3月26日から3月27日

恵那駅～到着まで(3月26日～27日)



恵那駅



関西国際空港搭乗ゲート



クラクフ中央駅・ショッピングセンター

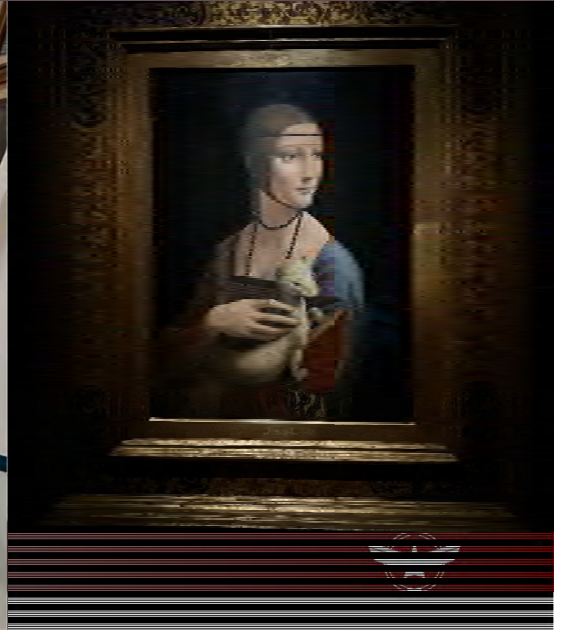
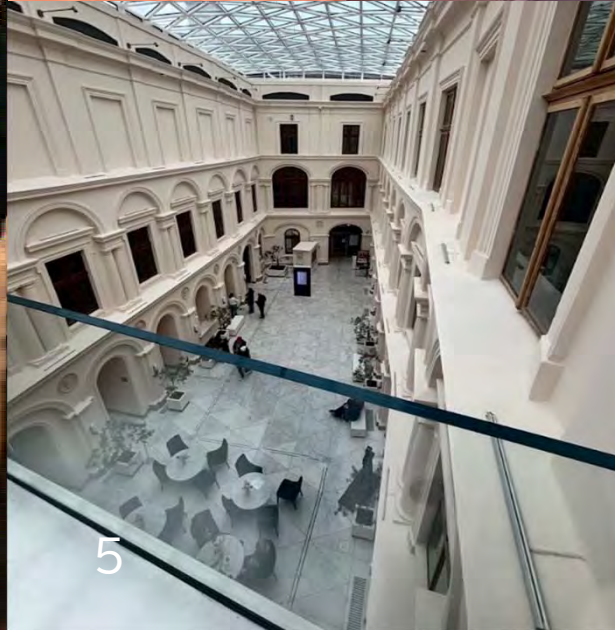


クラクフ空港



3月27日

チャルトリスキ美術館





3月27日

日本美術技術博物館マンガ訪問



日本美術技術博物館マンガ
アンジェイ・ワイダ氏
生誕100周年記念特別展示



ヴィスワ川沿い遊歩道



カフェ・マンガ



日本美術技術博物館マンガ



3月27日

日本語学校生徒との交流








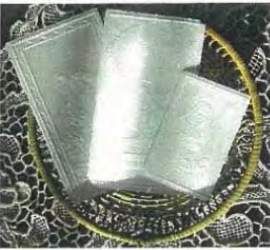




















日本人学校で使用した資料 「これは何？」

これは何？ 

これは何？ 

1 	2 	3 
4 	5 	6 
7 	8 	9 
10 	11 	12 

1 	2 	3 
4 	5 	6 
7 	8 	9 
10 	11 	12 



3月28日

旧市街地・ヴァヴェル城



ヴァヴェル城内



旧市街地入口付近



9

ヴァヴェル城を背にヴィスワ川沿いにて



3月28日

日本美術技術博物館ランチ交流・署名式

右手前から
美術館情報発信担当
エヴァ・マズルキエヴィッチ様

日本美術技術博物館 館長
カタジナ・ノヴァク様

日本語学校コーディネーター
ヴィオレッタ・ラスコフスカ様

画家・イラストレーター
マテウシュ・コウェク様

服飾デザイナー
パトリシア・グジク様

ポーランド在住通訳・ピアニスト
栗原 美穂様

日本美術技術博物館 学芸部長
アンナ・クルル様

左側一番奥
日本美術技術博物館 副館長
アレクサンドラ・カルファス様



ジュレク



コピトカ



シャルロトカ





3月29日

旧市街地・カジミエシュ地区



聖マリア大聖堂



織物会館



聖ペテロ
聖パウロ大聖堂



ガリシア・ユダヤ人博物館



日本人学校で使用した資料(答え)

1. Obwarzanek krakowski(オブラジャネック)

クラクフの名物で、ユネスコの「地理的表示保護(PGI)」にも登録されている伝統的な輪っか型のパン。ベーグルのルーツとも言われています。

2. パルマ (Palma wielkanocna)

復活祭(イースター)の前の「枝の主日」に飾る手作りの枝。イエスのエルサレム入城を再現したもので、ネコヤナギ、乾燥花、麦の穂などで作られ、復活や春の訪れを象徴します。

3. ポドハランスキ・シェパード・ドッグ(Owczarek podhalański)

ポーランド南部原産の白い大型牧羊犬。

4. ピサンキ(Pisanki)

復活祭のために伝統的な文様を施した彩色卵。地域によって蝋けつ染めや彫り込みなど、多様な技法があります。

5. ポンチキ(Pączki)

ジャム入りの揚げ菓子。2月4日「油の木曜日」には、1日で1億個、国民一人当たり2個半のポンチキが食べられる。

6. チュパガ (Ciupaga)

山岳地帯の男性が持つ伝統的な手斧兼ステッキ。民俗舞踊の小道具としても使われます。

7. ゾシカ (Zośka)

ポーランドの伝統的な蹴り遊びに使われるものです。中に重りが入った布製の小さなボールを、地面に落とさないように足で蹴り続けて遊びます。

8. オプワテック (Opłatek)

クリスマスイブの晩餐の前に、家族や友人と分け合いながらお互いの幸せを祈る、聖体拝領のパンに似た薄いウェハースです。

9. トイレのマーク (○と▽)

「○」が女子トイレ、「▽」が男子トイレ。

10. 大いなるクリスマス慈善オーケストラ(Wielka Orkiestra Świątecznej Pomocy)

ポーランド最大級の慈善活動の名称及び団体。最先端の医療機器を購入してポーランド全土の病院に寄贈するために毎年1月に資金を集めています。募金をした人には、赤いハートのシール(ステッカー)が配られます。

11. マルザンナ(Marzanna)人形

冬の終わりを象徴する人形で、春を迎える行事で川に流すそうです。

12. ヨーロッパバイソン(ジュブル/Żubr)

ポーランドを代表する動物。強いお酒の意味でズブロッカというお酒(ウォッカ)のマークにも採用されています。

